

令和3年度 図画工作科 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具の基本的な使い方を身に付けさせる。 ○触感や音、温度など、様々な感覚を働かせて意欲的に活動できるようにする。 ○カッターナイフを安全に正しく使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆の使い分けや混色の方法、片付けの指導などを繰り返し行う。 ・体全体を使って表現する造形遊びやいろいろな素材を課題に取り入れる。 ・動画を見せたり、実際にやってみせたりすることで分かりやすく示す。 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具を使った様々な表現ができるようにする。 ○のこぎり・金づちの基本的な使い方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・混色や、水の量の調整などにチャレンジさせ、絵の具の楽しさが分かるような課題に取り組みさせる。 ・動画を見せたり、実際にやってみせたりすることで分かりやすく示す。 ・ペアやグループを作り、協力して活動できるようにする。 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○筆以外の道具を使って、様々な表現ができるようにする。 ○締め切りを意識し、計画的に作業を進められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローラーやマーブリングなど、いろいろな種類の道具や材料を用意し、楽しみながら活動できるようにする。 ・毎時間ごと授業記録を付けさせて振り返りを行い(4～6年)、計画を調整させる。 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○絵画に苦手意識をもたせないようにする。 ○電動糸のこぎりや、彫刻刀などの扱いが難しい道具も1人で使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画の楽しさを味わえるように、写真に捉われない表現の課題を選ぶ。 ・動画を見せたり、実際にやってみせたりすることで分かりやすく示す。 ・リーダーを立てたり、友達同士で教え合わせたりする。 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学習した絵の具の技法を応用して、墨絵に取り組む。 ○既習事項を生かして、適切な技法や道具を使い、意欲的に課題に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の復習ができるように、にじみやグラデーションなどの練習課題をしっかりと行ってから本番に入れるようにする。 ・これまでに学んだ技法や道具を自分で選んで使えるように、中学校の学習も見据えた課題設定にする。 	